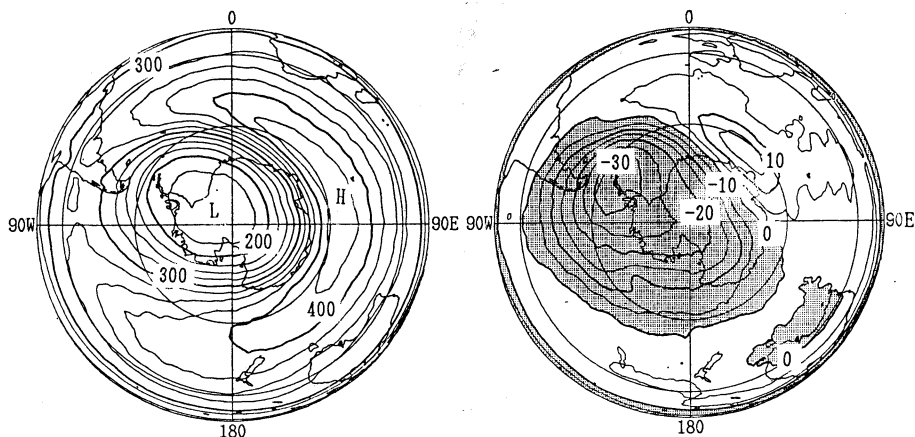


## 1991年のオゾンホール

1991年の南極上空のオゾンホールは、最盛期の面積、深さ、オゾン破壊量とも過去最大であった。オゾンホールが最盛期である10月について、TOMSによるオゾン全量の月平均及び偏差の南半球分布図を示す。南極半島上空を中心に30%を超える減少領域が見られ、10%以上の減少領域はマゼラン海峡を越えて南米の南端にまで広がっている。1991年のオゾンホールは、南極点を中心とする同心円からの変形が著しく、これまで直接的な影響を受けることがなかった南米にも広がった。



図：TOMSによる南半球の1991年10月の月平均オゾン全量 (m atm-cm) 及び10月累年平均値 (1979~1990年) からの偏差 (%)

TOMS：米国 Nimbus-7 衛星に搭載されたオゾン全量観測測器。  
(TOTAL OZONE MAPPING SPECTROMETER)

(オゾン層解析室)

### 堀内基金奨励賞候補者の推薦募集

日本気象学会の堀内基金奨励賞は、気象学の境界・周辺及び未開拓の分野における調査・研究・著述等により気象学及び気象技術の向上に寄与しているものに贈られる賞です。これまでに過去4回の顕彰が行なわれ、平成4年度はその5回目に当たります。

堀内基金奨励賞候補者推薦委員会は同賞受賞者選定規定に基づき、候補者を理事会に推薦します。

つきましてはこの規定の趣旨に沿う最も適切な候補者を選定するための参考資料として、下記のとおりひろく会員からの推薦を募りますので御協力をお願いします。用紙はなるべくB5版横書きを希望します。

#### 記

##### 1. 推薦期限

1992年7月15日(火)

##### 2. 宛先

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁内、日本気象学会

堀内基金奨励賞候補者推薦委員会

##### 3. 推薦書記入事項

- (a) 候補者所属氏名
- (b) 推薦する業績
- (c) 推薦理由 (主たる論文リストを含む)
- (d) 推薦者所属氏名印

日本気象学会堀内基金奨励賞候補者推薦委員会

安成哲三(担当理事)、岩坂泰信、駒林 誠、近藤純正

松野太郎